

実質化された人・農地プラン

注:本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
菰野町	岡地区	令和3年3月3日	平成31年3月31日

1. 対象地区の現状

①地区内の耕作面積	58.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	35.6ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	2.3ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.4ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.4ha
(備考)	

注1:③の「75才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4:プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

2. 対象地区の課題

農地所有者が約60戸、現在耕作者は13名、内80歳以上が3名、残りは70歳前後で5年後を考えると現在のところ後継者はいなく、耕作者が減、現面積の負担が難しくなる。

今後5年程度は何とか対応出来るが、それ以降は集約化が必要。機械の統合による効率化、法人化、農地中間管理機構の活用が必要となる。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

3. 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

当面は、他地区の認定農業者等に委託する方向で進めたい。

注1:中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2:「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。